

(令和5年7月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	7月の総入荷量は、全国的に気温の高い日が続いた一方で、日本海側を中心に記録的な大雨となったところがあり、前年同月並みであった。総取扱金額は、一部の品目で不安定な入荷の影響等により品薄感が強まり単価高で推移したことから、9%上回った。今後は、葉菜類や果菜類では高温障害の影響が懸念され、引き続き不安定な入荷となることが予想される。 8月は、野菜では、枝豆やとうもろこしが最盛期を迎える。果実では、ぶどう類の入荷が増え、りんごやなし類の入荷が始まる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月並みであったが、単価は8%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は25%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は不安定な入荷の影響等により13%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が堅調であったため16%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は前年同月並みであった。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は9%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は6%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は9%上回った。 もも類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は8%下回った。 ぶどう類の入荷量は前年同月比で9%上回ったが、単価は4%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は9%上回った。

	すいか類の入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は６％上回った。
--	----------------------------------

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん	北海道を中心に青森、滋賀、長野、岐阜などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％上回り、単価は３９％下回った。 北海道、青森を中心に長崎、和歌山、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回ったが、単価は下位等級品の割合が高かったため１０％下回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	長野を中心に群馬、北海道、山梨からも入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回ったが、単価は不安定な入荷の影響により２１％上回った。 群馬を中心に長野、滋賀、茨城、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回ったが、単価は産地の切り替わりに伴う端境期が長期化したため２６％上回った。 岐阜を中心に茨城、静岡、京都、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％上回ったが、単価は４％上回った。 長野を中心に滋賀、兵庫、熊本、千葉からも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は１３％上回った。
【果菜類】 きゅうり	福島、京都、愛媛、長野、宮崎などから入荷した。入荷量は主産地からの入荷が安定していたため前年同月比で１０％上回ったが、単価は需要が高かったため１３％上回った。

なす	京都を中心に徳島、香川、群馬、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が高かったため24%上回った。
とまと	北海道を中心に岐阜、熊本、京都、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は上中旬に品薄感が強まったことから10%上回った。
ピーマン	大分を中心に兵庫、宮崎、青森、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は42%上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	千葉、北海道、茨城、長崎、静岡などから入荷した。入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は54%上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に滋賀、京都、中国、北海道からも入荷した。入荷量は前年同月比で16%上回り、単価は34%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に佐賀、宮崎、和歌山からも入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回ったが、単価は３％上回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で２０％下回り、単価は１９％上回った。
もも	山梨を中心に福島、長野、和歌山、岡山からも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は８％下回った。
巨峰	福岡を中心に山梨、鳥取、佐賀、長野からも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回ったが、単価は３％上回った。
アールスメロン	京都を中心に静岡、高知、茨城、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は１２％上回った。
大玉すいか	鳥取、山形を中心に石川、長野、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は７％上回った。